



北海道におけるがん対策について

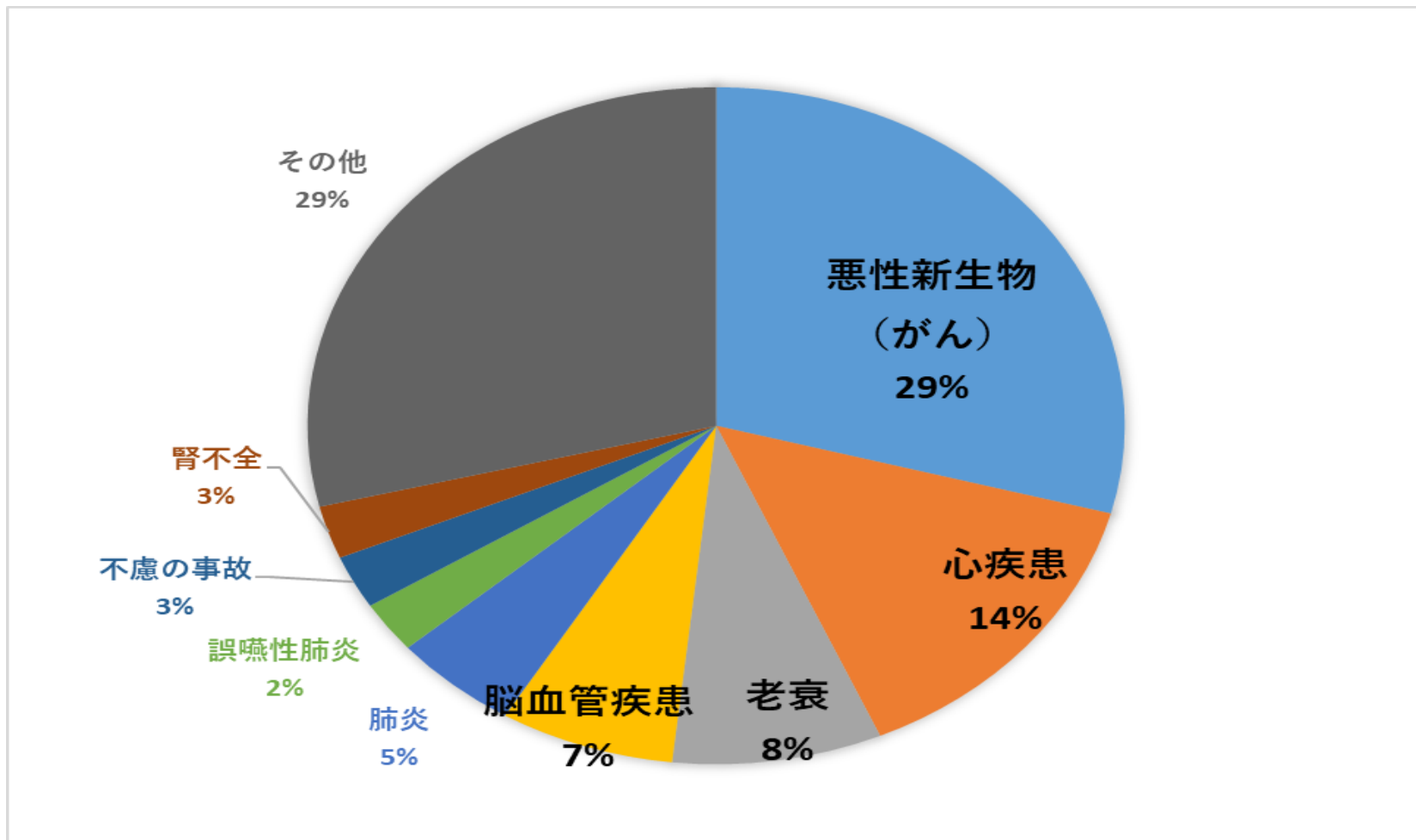
2023.11月

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課



北海道がん対策ロゴマーク

死因別割合（北海道）



出典：令和3年人口動態統計（厚生労働省）

がんにより全国で年間約38万人、北海道では約2万人が亡くなっている。

75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)

道内男性の膵がん、道内女性の肺がんの死亡率は 全国で最も高い

全部位男女計 79.5 (67.4) 46

男性		95.6	(82.4)	45
1位	肺がん	46	23.7 (18.4①)	
2位	大腸がん	41	14.6 (12.4②)	
3位	膵がん	47	10.9 (8.7④)	
4位	胃がん	14	8.9 (9.6③)	
5位	肝がん	31	6.7 (5.9⑤)	

女性		65.8	(53.6)	46
1位	乳がん	45	12.8 (9.9①)	
2位	肺がん	47	8.6 (5.8③)	
3位	大腸がん	42	8.2 (6.9②)	
4位	膵がん	45	6.9 (5.4④)	
5位	子宮がん	42	5.7 (4.9⑤)	

() は全国値で、○囲み数字は順位

年齢調整罹患率（人口10万人対）

罹患率も全国ワースト二位

全部位（上皮内がん除く）

日本人人口	男	女	総数	順位
北海道	472.3	375.5	413.0	46位
全国	445.7	346.7	387.4	

※令和元年全国がん登録 罹患数・率報告(厚生労働省)引用

※市町村別の罹患数も道のHPで公表しています。

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gan_toroku.html

がん検診受診率

北海道におけるがん検診受診率は、全国平均と比較すると、いずれの部位も低い状況となっている。

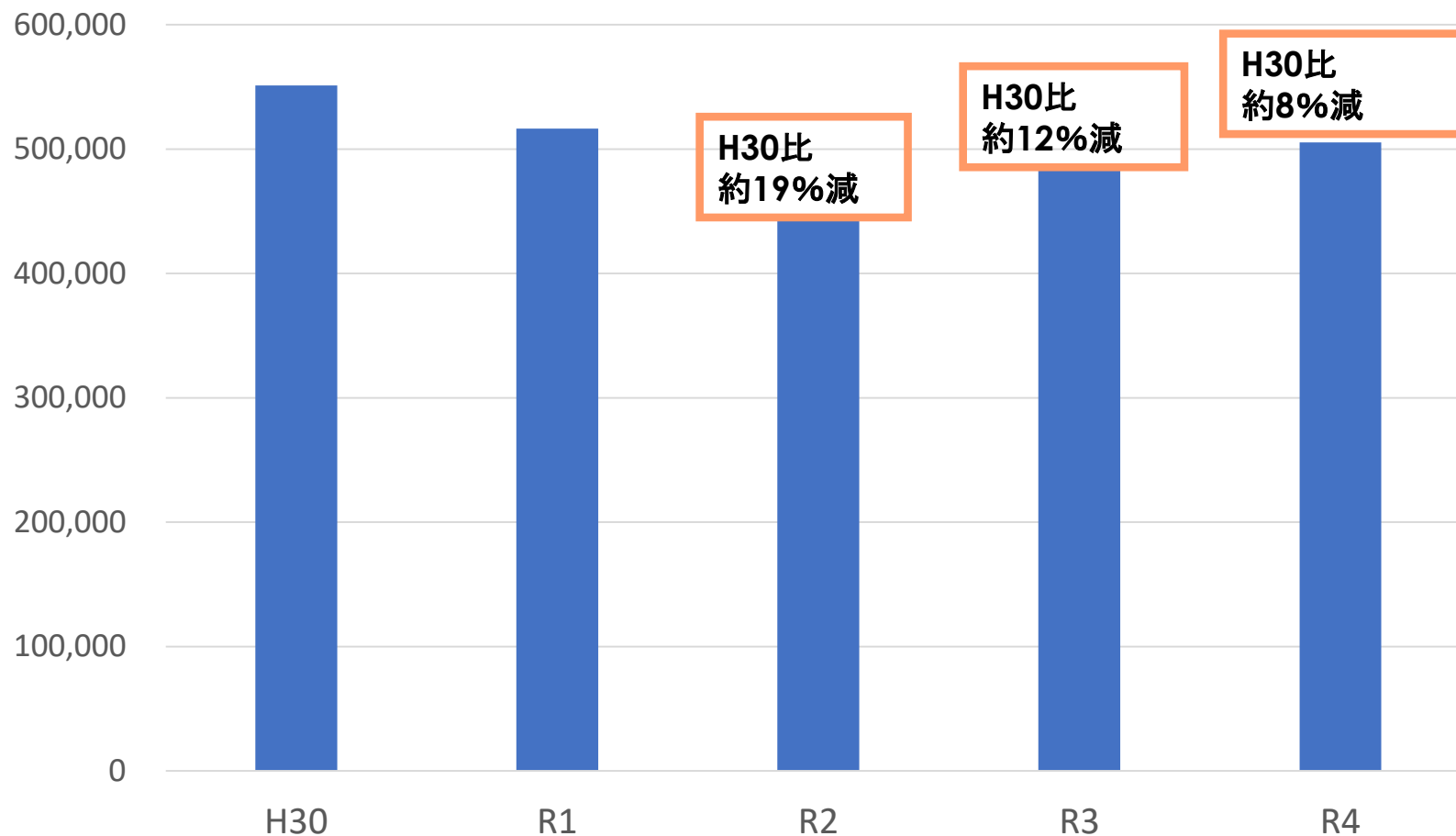
区 分		R1	R4	目 標
北海道	肺	37.8%	35.7%	50%以上
	胃	34.0%	31.8%	
	大腸	34.6%	33.4%	
	乳房	30.1%	28.3%	
	子宮頸	30.7%	28.9%	
全 国	肺	45.8%	45.0%	50%以上
	胃	39.0%	37.2%	
	大腸	41.2%	41.5%	
	乳房	37.4%	36.4%	
	子宮頸	35.8%	34.5%	

出典：令和4年度国民生活基礎調査から引用（厚生労働省）

直近5年間の検(健)診受診者の推移



※コロナ禍前のH30との比較



引用:北海道対がん協会の実施状況(がん検診+特定健診)

北海道の喫煙率

～ 年々減少傾向であるが、全国的にも高くなっている ～

		H22	H25	H28	R1	R4
北海道	全体	24.8%	27.7%	24.7%	22.6%	20.1%
	男	35.0%	39.2%	34.6%	31.7%	28.1%
	女	16.2%	17.8%	16.1%	14.9%	13.2%
全国	全体	21.2%	21.6%	19.8%	18.3%	16.1%
	男	33.1%	33.7%	31.1%	28.8%	25.4%
	女	10.4%	10.7%	9.5%	8.8%	7.7%

(厚生労働省令和4年「国民生活基礎調査」)

北海道のがん対策

北海道がん対策推進計画（第3期）

基本方針

がん患者等を含む道民の立場にたったがん対策の推進

国、道、市町村、保健医療福祉関係者、教育関係者、事業者及びがん患者等を含む道民の適切な役割分担の下に、一体となって推進

総合的かつ計画的ながん対策の実施

「がん予防」、「がん医療の充実」、「がんとの共生」を3つの柱とし、より一層実効性のあるがん対策を推進

目標とその達成時期の考え方

国の目標と整合性を図りつつ、個別目標の設定及び全体目標と個別目標を達成するために要する期間の設定

全体目標

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

- ◆がんの1次予防
- ◆がんの早期発見・がん検診（2次予防）

2 患者本位のがん医療の実現

- ◆がんの手術療法、放射線療法、薬物療法等の充実
- ◆後遺症対策等の推進
- ◆女性特有のがん、希少がん、難治性がん対策
- ◆小児がん、AYA世代のがん及び高齢者のがん対策
- ◆がん登録

全体目標値

<75歳未満がん年齢調整死亡率>

- 全国平均値（期間：6年間）
【現状値 男性95.6 女性65.8
（全国男性82.4 女性53.6）】

3 尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築

- ◆がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- ◆相談支援、情報提供
- ◆がん患者等の就労を含めた社会的な問題への支援
- ◆がん教育、がんに関する知識の普及啓発
- ◆道民運動の推進

国の第4期がん対策推進基本計画

第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月28日閣議決定）概要

第1. 全体目標と分野別目標 / 第2. 分野別施策と個別目標

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

「がん予防」分野の分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

1. がん予防

- がんの1次予防
 - 生活習慣について
 - 感染症対策について
- がんの2次予防（がん検診）
 - 受診率向上対策について
 - がん検診の精度管理等について
 - 科学的根拠に基づくがん検診の実施について

「がん医療」分野の分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

2. がん医療

- がん医療提供体制等
 - 医療提供体制の均てん化・集約化について
 - がんゲノム医療について
 - 手術療法・放射線療法・薬物療法について
 - チーム医療の推進について
 - がんのリハビリテーションについて
 - 支持療法の推進について
 - がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
 - 妊孕性温存療法について
- 希少がん及び難治性がん対策
- 小児がん及びAYA世代のがん対策
- 高齢者のがん対策
- 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

「がんとの共生」分野の分野別目標

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

3. がんとの共生

- 相談支援及び情報提供
 - 相談支援について
 - 情報提供について
- 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）
 - 就労支援について
 - アピアランスケアについて
 - がん診断後の自殺対策について
 - その他の社会的な問題について
- ライフステージに応じた療養環境への支援
 - 小児・AYA世代について
 - 高齢者について

4. これらを支える基盤

- 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
- 人材育成の強化
- がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
- がん登録の利活用の推進
- 患者・市民参画の推進
- デジタル化の推進

第3. がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 関係者等の連携協力の更なる強化
- 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
- 都道府県による計画の策定
- 国民の努力
- 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 目標の達成状況の把握
- 基本計画の見直し

次期北海道がん対策推進計画(素案)

全体目標

- 75歳未満がん年齢調整死亡率を全国平均値以下
- がん年齢調整罹患率を全国平均値以下
(新たに追加) ※がん登録情報活用
- 5年相対生存率を現状値よりも向上
(新たに追加) ※がん登録情報活用

次期北海道がん対策推進計画(素案)

がん登録関連抜粋

<施策の方向>

- **がん登録情報等に基づき、がんの罹患状況や生存率等のがん登録情報を用いて、地域ごとのがんの状況を分析し、効率的・効果的な施策を推進します。**
- **個人情報に配慮しつつ、がん登録によって得られた情報を活用することによって、道民のがんに対する理解の促進やがん患者やその家族の医療機関の選択等に資するよう、道民への情報提供を推進します。**

<個別目標>

- **全国がん登録及び院内がん登録を推進し、精度の高い情報を提供できる体制を構築します。**